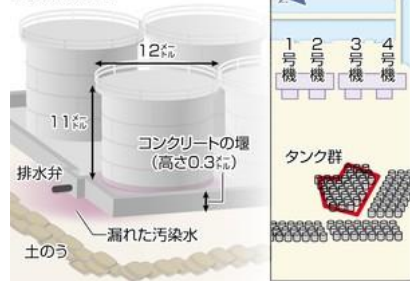


● 汚染水管理 “危機的” 状況に

東京電力福島第一原子力発電所で、地下の汚染水が海へ流れ出ていることに加え、タンクからも汚染水が漏れていることが分かった。300トンの汚染水が漏れ、非常に高濃度の放射性物質を含んでおり、原子力規制委員会は事故評価を「レベル3」に引き上げることを検討している。IAEA(国際原子力機関)もこの問題を深刻に受け止めている。

福島第一原発で起きた汚染水漏れ



● 新型ロケット打ち上げに沸く町

日本が12年ぶりに開発した国産ロケット「イプシロン」が、27日鹿児島県肝付町から打ち上げられる。肝付町は小惑星探査機「はやぶさ」も打ち上げられたロケットの町で、ロケットにちなんだお土産が発売されるなど打ち上げに町が沸いている。イプシロンは点検作業の一部をコンピューターで自動化することで、コストの大幅な削減に成功した。



● “民主化に逆行” 動き強まる

エジプトでは各地でデモが行われている。大統領職を解任されたモルシ氏の復権を求め、イスラム組織「ムスリム同胞団」が抗議を続ける姿勢を示した。暫定政府は同胞団の抗議行動に対し、強制排除に乗り出した。対立はエジプト全土に広がり、死者は850人にものぼる。

またアラブの春で退陣に追い込まれ拘留されていたムバラク元大統領(写真右)が保釈され、民主化に逆行する動きが強まっている。



・アラブの春 2010年にチュニジアで起きた民主化運動を発端として、北アフリカ・中東のアラブ諸国に波及した民主化要求運動。2011年にはエジプトで大規模なデモが発生し、約30年にわたり長期政権を維持してきたムバラク大統領が辞任に追い込まれた。